

# しまんと

発行：四万十町教育研究所・  
少年補導センター  
令和8年6月19日 発行

保護者の皆様へ



梅雨の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、皆さんはこのような看板を見かけたことはないでしょうか。窪川警察署前の四万十町農村環境改善センター前に掲げています。

今回、四万十町教育研究所、少年補導センターについての業務について、保護者の皆様にご理解していただきたく、お便りを配布させていただくことにしました。

教育研究所、少年補導センターは四万十町農村環境改善センター内に教育委員会の関係機関としてあります。

まず、少年補導センターについて。

## 少年補導センターはどんなことをしているの？

少年補導センターは、教育委員会生涯学習課の関係機関で主に、町内の児童・生徒の見守り（巡回補導）や青少年育成事業の開催、学校と連携して万引き防止・非行防止・情報モラル等の各種教室を開くなどの非行防止活動、警察と連携して児童・生徒が犯罪に巻き込まれないよう予防への取り組み等の活動をしています。月に何回かは補導員の皆さんと挨拶運動、交通安全指導を行っています。

本年度も8月には木工教室を計画しております。後日お知らせいたします。多数の参加をお待ちしています。上の写真は昨年度行った育成事業のものです。



R7. 四万十町出身の落語家三遊亭萬戸さんによる育成事業（中学生、高校生対象）

## 少年補導センターのメンバー ☎ 0880-22-1197

所長	野村 泰子	専任補導員（窪川地区）	伊与木 裕子
次長（生涯学習課）	森田 工	専任補導員（窪川地区）	黒岩 範久
		専任補導員（十和・大正地区）	中脇 由美
		専任補導員（十和・大正地区）	田邊 真司



今年の夏の工作教室は木工教室です。

令和8年11月には小学生を対象にサイエンスショーを計画しています。

# 教育研究所はどんなことをしているの？

教育研究所は教育委員会学校教育課の関係機関で教育研究をはじめ、教育相談を行っています。教育研究については、「四万十町教育DX推進計画」に基づき、単にタブレットを使用するだけでなく、「どのように活用すると教育的効果が高いのか」ということを、各学校で授業実践を行いながら研究を進めています。教育相談では、様々なことが原因で不登校、あるいはその傾向になった児童生徒、保護者への対応等を行い、学校復帰や社会への自立へとつなぐことを趣旨としています。そのために教育支援センターを運営しており、学習支援や体験活動支援を行っています。

**研究所メンバーは以下の通りです。**

**☎0880-22-3287**

所長	野村 泰子	教育支援センター指導員	榊山 雅子
研究員	西澤 尚輝	教育支援センター指導員	中平 均
SSW（窪川地区）	齋藤 マサ	教育支援センター指導員	国広 由香
SSW（大正・十和地区）	北村 仁実	教育支援センター指導員	藤原 克彦
発達教育支援員	西田 香利	事務職員	長山 智花

教育研究所では、義務教育終了後（18歳まで）のお子さんの相談も受け付けています。何かお困りのことがありましたら、まずは研究所までお電話をください。四万十町の児童生徒が安心して生活が送れるよう、努めていきます。

## 四万十町教育支援センター

四万十町教育支援センター（かげつ・たのの・とおわ教室）は、児童生徒が学校に戻ることに、自立を目指すことを目的としています。



**ステップ1 見学・体験と手続き**  
教室を見学し、体験教室を経て入室  
手続きを行います。



**ステップ2：支援開始と日々の活動**  
個別の状況に合わせ、学習支援や  
モノづくり、作物栽培などの活動を  
開始します。



**ステップ3：学校復帰と退室**  
自信がいたら学校へ復帰し、  
センターを退室（卒業）します。

🏠 ○ かげつ教室  
月曜日～金曜日 9:00～15:30

📖 ○ たのの教室  
毎週火曜日 9:30～15:30  
毎週水曜日 13:30～15:30  
毎週木曜日 13:30～15:30

🕊 ○ とおわ教室  
毎週水・木曜日 9:00～12:00

### 活動内容と大切なルール



学習支援 モノづくり 作物栽培



**ゲームやネットは禁止**  
学習支援、モノづくり、作物栽培を行  
いますが、ゲームやネットは禁止です。

お問い合わせ：四万十町教育研究所 0880-22-3287